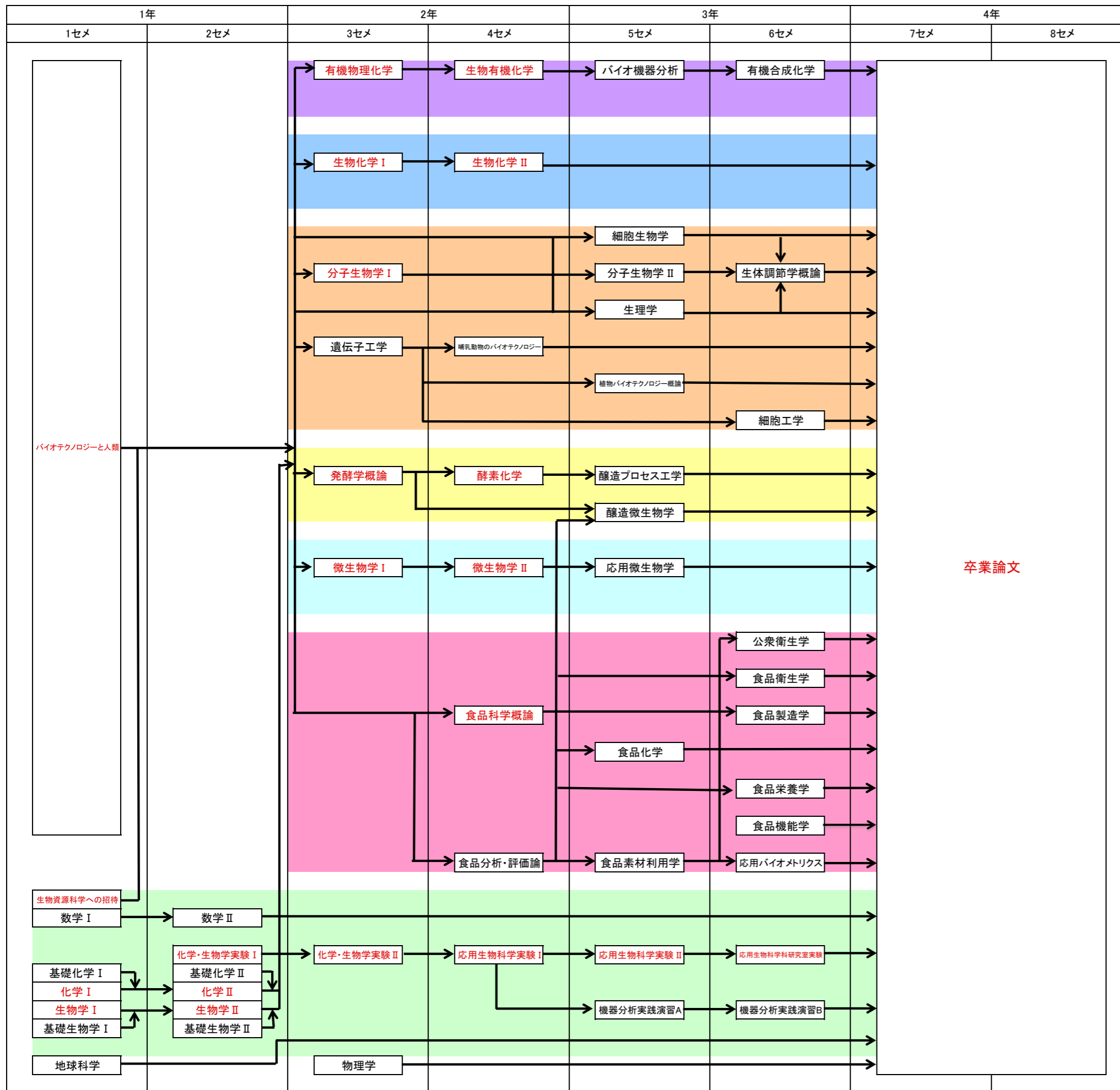


生物資源科学部 応用生物科学科 カリキュラムマップ (平成26(2014)年度 1年生、2年生)



修得すべき能力

生命現象を化学のことで理解し、説明したり考えたりできる力を身に付ける。

生物を構成する物質とその代謝についての理解。それらの探究方法と利用方法を身に付ける。

生命現象を分子レベルで理解し、説明できる力を身に付ける。

バイオテクノロジーの基本原則を理解し、諸分野における利用方法を身に付ける。

酒類・醸造物を科学的に理解し、生命現象をそれらの生産に応用する力を身に付ける。

微生物学が、医学、環境、食品、醸造等、多くの分野に応用されていることを理解し、説明できる力を身に付ける。

食品原料の理化学的特性や機能の理解を基盤として、加工から品質管理にいたる一連の知識と技術を身に付ける。

生命科学を支える化学・生物学の基礎を理解し、基本的な実験手法とデータの解析法及び結果の考察方法を身に付ける。

養成する人材像 (学科)

どの生物生命関連産業に生命現象を物質レベルで理解し、生物資源を高度に利用・活用するために必要な理念・知識と技術を習得させ、化学・医療な

養成する人材像 (学部)

立人的な行動として、持続可能な変革を促す。化学や生物学の発展を不断に学習し、生物資源利用の諸問題の発見と解決に『現場重視』の研究思考を身につけた取り組む。人類と生物資源の持続可能な共存をはかるため、先端科学や技術を駆使して幅広い視野から真理を探究し、生物資源科学・農学を身につけた自立した人材を養成する。